

# 孤独のアニメ

イオリ・マエステラ

## 【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

## 【あらすじ】

※みんな親密度20ぐらいの設定でアニメ好きな先生を淡々と描きます。

目次

## 孤独のアニメ

みき

「せんせー！駅前にパフェのお店が出来たんですけど、放課後行きませんかー！」

先生

「あ、ごめん今日はちよつと都合が悪くて…」

みき

「そうでしたか…また誘いますね〜」

先生

「ああ、悪いね」

みき

「遥香ちゃん、先生今日もダメだったさ」

遥香

「そう…残念だけど仕方ないわね」

八雲

「あら、あなた達」

みき

「八雲先生！」

八雲

「先生をお誘いしていた様に見えたけど？」

遥香

「はい、何度か誘ってるんですけど、都合が悪いみたいで、一度も…」

御剣

「はっは！やめとけやめとけ！」

みき

「御剣先生!？」

御剣

「あいつは付き合いが悪いんだ。『飲みに行こうぜ!』って誘っても楽しいんだか楽しくないんだか…仕事は真面目で卒なくこなすが、今一つ情熱のない男さ」

遥香

「そ、そうなんですか…(すごい説明口調)」

く帰り道く

先生

「(さて、仕事が終わった事だし行きつけのツタヤにアニメでも借りに行くか)」

先生

「(今日は何を借りよう…こないだはハルヒを借りたし、らき☆すたでも見てみようかな)」

通りすがりの高校生A

「ああ〜心がびよんぴよんするんじやあ〜」

通りすがりの高校生B

「ああ、心がびよんびよんするんじゃないやあ、」

通りすがりの高校生A・B

『ああ、心がびよんびよんするんじゃないやあ、』

先生

「……………」

先生

「(ちうさ)…か」

くツタヤ

先生

「(さっきの高校生たち、やたら(ちうさを推してたようだけど、さぞ面白いんだろうな)」

先生

「(ちうさは確か…(ちうさ)…あ、この辺か」スツ

ピトツ

先生

「ん?」

昴

「えっ?」

昴

「せせ、せ、先生っ!?何でこんなところにいく!!?」

先生

「君は確か…（若葉昴…だったかな）」

先生

「昴（？）もごちうさを借りに？」

昴

「え、あ、ええと…はい…／／／」

先生

「そうかい（困ったなあ1巻は1本しかないよ、さっきの高校生の言葉のせいで、見たくてしょうがないってのに）」

昴

「あ、あのお…」

先生

「ん？」

昴

「よければウチで…その…いい、一緒に見ませんかっ!!!／／／」

先生

「……………えっ？」

く昴の家く

昴

「た、ただいまく」

昴の弟以下アキラ

「あ、姉ちゃん！おかえりー！」

先生

「お邪魔します」

アキラ

「!?ね、姉ちゃんが彼氏を連れてきた…」

昴

「ち、ちがつ!?彼氏だなんて…そんな、そんなこと…：／／」ポツ

アキラ

「お父さんとお母さんに後で教えてあげよー♪」スタタタツ

昴

「あ、こちら！アキラ!!先生、なんかその…すみません／／」

先生

「いや、いいんだお気にせず (ご)ちうさ早く見たいし)」

く昴の部屋く

昴

「そ、それじゃあ再生しますね／／(う、うわあく先生が私の部屋に…私の隣につっ／／)」ドキドキ

先生

「ああ、頼むよ (ついにご)ちうさを見られるぞお)」ドキドキ

第1羽「ひと目で、尋常ではないもふもふだと見抜いたよ」



ココア・昴

『可愛い街！ここなら楽しく暮らせそう！』

先生

「ふあっ!？」

ココア・昴

『喫茶店？ラビット……ハウス？』

ココア・昴

『入ってみよう!』

先生

「す、昴？昴さーん？」

昴

「ハッ!?すす、す、すみませんでしたああああっ／／／」

先生

「もしかして…何回か見たことある感じなのかな？」

昴

「つつっ!!………はい、かれこれ20回目になりますっ」

先生

「」

昴

「あ、ごめんなさい一時停止したままでしたね／／／ピッ

先生

「あ、ああ…続き見ようか（一体何がそこまで惹きつけるのか…この先に答えが…!）」

〜30分後〜

先生

「ごころぴよんぴよんwww待ち?考えるふりしてwwwも  
〜ちよつと近づいちゃえwww」

ココア・昴

『簡単には教えないっ♪こんなに好きなことは〜♪ナイショなの♡』

先生

「ふわふわドキドキ内緒ですYO!はじめがかんじん、詰んだwww  
詰んだwww(教員生活)」

ココア・昴

『ふわふわどきどきナイショだって♪いたずら笑顔で〜』

先生・昴

『ぴよんっ ぴよんっ♡』

〜焼肉屋〜

先生

「はふ、はふっ!」モグモグ ゴクン

先生

「プハア〜!いやあ、久し振りにアニメでいい汗かいたな…なんだか  
んだで、昴とも少し仲良くなれた気がするし、うん」

先生

「そして締め焼肉…これこれ♪」

モグモグ ムシヤムシヤ

先生

「……続き借りたら、また昴と見ようかな」

昴の家

昴

「ヴェアアアアアアア!!先生に全部見られたっ!?知られたっ!?恥ずかしくて死ぬうううううううっ!!!?」

昴の母

「え、ちよつと…昴あんた一体何があつたの…」

アキラ

「なんか、彼氏が帰ってからずっとあんな感じなんだよね。」

昴の父

「」

アキラ

「ねーちゃん飯だぞー」

昴

「(、0言0、\*( <ヴェアアアアアアア」

アキラ

「ダメみたい」

昴の母

「はぁ…もう好きにしなさい」

昴の父

「彼氏…彼氏…うちの娘に彼氏…ハハハ…」

アキラ

「父ちゃん箸落つこちてるぞー」

↳数ヶ月後↳

先生

「(アレから数ヶ月、結局最後まで昴と見てしまったなあ〜次は劇場版か…) それまでなんのアニメを見ようかな」

通りすがりの高校生A

「にっこにっこにー♪」

通りすがりの高校生B

「にっこにっこにー♪」

通りすがりの高校生A・B

『あなたのハートににっこにっこにー♪』

先生

「……………」

先生

「ラブライブ…か」

くツタヤく

先生

「(きつぎの高校生たち、やたら矢澤にこを推してたな。名前は知ってるけど見たことないし、見てみるかな)」

先生

「ラブライブは確か…ら、ら、ら…あ、この辺か」スツ

ピトツ

先生

「ん?」

蓮華

「あらっ?」

くおしまいく